

平成20年度
奈井江町・高梁市
教育文化親善交流派遣事業報告書

平成20年10月22日(水)～10月25日(土)

岡山県高梁市・広島県広島市



奈井江町・奈井江町教育委員会
奈井江町教育文化親善交流訪問団

平成20年度教育文化親善交流会行程表

	行 程	宿 泊 先
10月22日(水)	<p>市民館(出発式) 7:00</p> <p>新千歳空港 ANA56便 羽田空港 ANA65便 岡山空港 高梁市役所 表敬訪問 17:00</p> <p>9:15 10:30 12:05 12:45 14:00 14:15 15:30</p> <p>ホテル(泊) 18:00</p> <p>夕食～神原荘 19:30</p> <p>入浴～朝霧温泉ゆらら</p>	<p>岡山県高梁市松原町神原 2281-3</p> <p>神原荘(こうばらそう)</p> <p>TEL0866-22-0135</p>
10月23日(木)	<p>ホテル 親善交流会 石火矢町ふるさと村見学 高梁国際ホテル(昼食) 備中高梁駅 14:27</p> <p>8:15 9:00 10:30 11:00 12:40 13:00 14:00 14:10</p> <p>倉敷駅(乗換) サンライズ新倉敷駅 こだま661号 広島駅 ホテル(泊) 17:20</p> <p>15:02 15:14 15:22 16:05 17:09</p>	<p>広島県広島市南区稻荷町 3-27</p> <p>広島インテリジェントホテル アネックス</p> <p>TEL082-263-7878</p>
10月24日(金)	<p>ホテル 原爆資料館、平和公園、広島市内見学(昼食) 広島駅 宮島口 13:45</p> <p>9:00 13:00 13:20</p> <p>宮島 宮島口 広島駅 ホテル(泊) 16:30</p> <p>15:54 16:19</p>	<p>広島県広島市南区稻荷町 3-27</p> <p>広島インテリジェントホテル アネックス</p> <p>TEL082-263-7878</p>
10月25日(土)	<p>ホテル 広島駅 広島空港 ANA791便 新千歳空港 奈井江町着</p> <p>9:00 9:10 9:20 10:05 12:40 14:35 14:55 16:55</p>	
	<p>航空機 徒歩 JR 路面電車 JR観光船 バス等</p>	

平成 2 0 年度 教育文化親善交流派遣事業参加者名簿

学校名	学年等	氏名	性別	備考
奈井江小学校	6 年生	井内 なみき	女	
	6 年生	石原 加奈恵	女	
江南小学校	6 年生	小笠原 開	男	
	6 年生	秋元 理沙	女	
奈井江中学校	3 年生	東藤 佑太	男	班長
	1 年生	川端 あかり	女	
奈井江小学校	校長	東 喜章	男	団長
奈井江中学校	教諭	小原 陽一	男	

教育文化親善交流会

奈井江小学校 6年 井内 なみき

出発の前日まで、「大丈夫かな。ちゃんと、代表としていられるかな」心配で心配でしようがなかった。けれど、たくさんの人が「がんばって行ってきてね。気を付けてね」と応援してくれて、見送ってくれて、「がんばろう。自分の意見を伝えて、たくさん学んで、応援してくれている人達に分かった事を伝えたい」そう思った。

むこうに着いたら、教育委員会の浅沼さんが迎えてくれました。初めて会った浅沼さんは、笑顔で、親しく声をかけてくれて、安心しました。

1日目は、高梁市役所に表敬訪問に行きました。市長さんとお会いし、歓迎の言葉をいただきました。短い時間でしたが、お話できて良かったなと思います。

2日目は、成羽小学校に訪問に行きました。行ってすぐ、小学校の校長先生に会い、成羽小学校を簡単に紹介してもらいました。少しすると、同学年の女の子2人が、体育館へ案内してくれました。着くと、大きな拍手で同学年の子供達が迎えてくれました。私は思わず笑顔になりました。うれしかったからです。学校の紹介はもちろん、ゲームも考えてくれて、とても楽しい思い出です。その後は、市内を浅沼さんに案内してもらい、見学しました。武家屋敷や郷土資料館など、色々な建物を見学しました。見学し終わると、駅に行き、とうとうお別れです。さみしかったのを覚えています。



3日目は、広島原爆ドームと平和記念資料館、そして厳島神社を見学しました。特に心に残っているのは平和記念資料館です。ビックリしました。思ったよりも残酷で、悲しくて・・・、館内にあった原爆についての説明や後障害が残ってしまった人の写真や遺品を見てそう感じた。見学して、感じて、自分自身を変えられたな。と感じます。あきらめる。それは、必要な時がある。でも、あきらめずにやった

方がいい時だってある。できないかもしれないし、失敗するかもしれない。だから、被爆を受けて、やりたい事を出来なくなった人達のためにも、色々な事に挑戦しよう。やってみよう。そう思いました。これからは、色々な事に挑戦して、明るく、楽しく過ごして行きたいと思います。

最後に、お世話になった教育委員会、町長さん、家族、地域の皆さん、ありがとうございました。

3泊4日の親善交流

奈井江小学校 6年 石原 加奈恵

1日目に、私達は、表敬訪問に行き市長さんに会い挨拶をし、お話を聞いてきました。その時、記念品としてお面をもらいました。高梁市の特産品の一つの神楽面、すさなおというお面をもらいました。

2日目は、成羽小学校に行き、成羽小、吹屋小の人達と交流してきました。とても快く歓迎してくれて、ゲームの時は、みんな私達の周りに来てくれて、積極的に話かけてきてくれました。その時のみんなの表情は、笑顔がとても多く、人見知りの私でも、笑顔で話げできました。とても楽しい交流ができたと思います。



3日目の原爆ドーム・平和記念資料館では、戦争の悲惨さ、平和のすばらしさがとてもよく分かりました。学校で勉強したり、戦争の本を読んだだけでは分からない事がいっぱいあり、その時の写真やその時の人達が残した物を見ていると、涙が出てきそうになるほど、悲しくなりました。私達は、この世から戦争をなくし、平和な世界にしていかなくちやいけないという事が、とても良く分かりました。みなさんにも、一度、ここに行ってみてきてほしいです。

厳島神社では、奈井江の神社と違い、鳥居が海の中にあるので、引き潮で、触りに行けるかと、とても楽しみにしていました。ですが、鳥居の近くに行けるだけで、鳥居は触れる事ができませんでした。とても残念でした。厳島神社の中は、所々新しくなっ



ている所があり、神社の下の方を見ると、神社を直している人達がいて、それを見た私は、少しずつ直しながら残しているこの神社をこれからも先、ずっと大事に残していってほしいと思いました。

色々な所を見てまわったこの旅行は、これから先、私達にとって、とてもイ勉強になったと思います。

教育文化親善交流に参加して

江南小学校 6年 小笠原 開

「高梁市は、どんな所だろう」と思いながら着いた岡山空港。北海道とは、温度差が10度くらい違い暖かかったです。車で移動した時に見た景色は、山の斜面を利用した階段のような田んぼやかかわら屋根の家が多くありました。

空港から最初に高梁市役所に表敬訪問をしました。市役所に入ると、職員の方々があたたかく迎えてくれました。市長さんは、忙しい中、少しでも顔を出してくれ、奈井江町を代表して東藤君があいさつをしました。高梁市から記念品として、神楽面をいただき、思い出の品物になりました。それから、市役所の近くにある歴史美術館へ行き、高梁市の観光スポットや特産品、郷土芸能などの映像を見ました。そして、車で旅館の神原荘へ行き、泊まりました。



2日目、朝、成羽小学校へ行きました。成羽小学校は、創立130年以上もたっていて、全校生徒が237人もいるそうです。

交流会が始まると、成羽小学校の紹介、吹屋小学校の紹介、成羽小学校の6年生が用意してくれた「仲間作りゲーム」をしました。

僕たちは、自分たちの学校の紹介をしました。いつもより、上手に出来たと思います。交流会が終わり、車で町の中を見学しに行きました。まず最初に、高梁市郷土資料館へ行きました。資料館には、昔の日常生活用具などを展示してありました。

次に明治15(1882)年から建てられている教会へ行きました。僕は、教会の中へ入ったことが無かったので「教会の中は、こうなっているんだ」と思いました。



次に武家屋敷へ行きました。武家屋敷は、武士が住んでいた風景やよろいなど武士に関係のある物がありました。

最後に商家資料館へ行きました。資料館には、昔の醤油を作る道具があり、全部木材でできていました。

他にも広島など行きましたが、特に高梁市との交流が印象的だったので書きました。参加して本当に良かったです。

岡山県高梁市・原爆ドームに行って

江南小学校 6年 秋元 梨沙

私は、10月22日～10月25日まで岡山県の高梁市や広島原爆ドームや平和記念資料館などに行きました。

私の一番の思い出は、平和記念資料館に行ったことです。資料館の中に入ると、戦争の事が書いてあったり、画像があったりしました。その中でも戦争は、やっぱりこわいと思う画像がありました。それは、B29が落ちてきて、着物を着ている人の肌に着物のあとがついて、さうとう痛いんだと思いました。戦争の恐ろしさや怖さなどを行って学べたので良かったです。

岡山県高梁市(旧成羽町)にある成羽小学校に行きました。成羽小学校では、簡単な自己紹介・奈井江町の紹介・そして江南小学校の紹介の時に緊張しました。その後、「仲間集めゲーム」をしました。あと、成羽小学校の校長先生が成羽町の紹介のビデオを見せてくれました。私と同じ学年の友達成羽小学校の紹介をしてくれました。

岡山県は、北海道と違い、かわら屋根の家が多かったです。高梁市では池上邸と武家屋敷(折井家)に行きました。池上邸は、昔はそこで醤油を作っていたそうです。大きな樽がたくさんあって、びっくりしました。



武家屋敷(折井家)は、よろいかぶと等がありました。そのよろいを見てびっくりしました。昔は、あんな重い物を着ていたのだからすごいと思いました。

宮島にある厳島神社に行きました。その厳島神社では、お参りやおみくじを引きました。おみくじでは、中吉がでました。

私は、今回の親善交流会に参加して色々な所へ行き体験や見学などができて良かったです。

小学校最後の楽しい思い出がたくさんできました。

高梁市・広島県での見学の報告

奈井江中学校 3年1組 東藤 佑太

私は、この4日間班長として、班員全員のことを見てきましたが、いくつもの素晴らしい点があったと思います。

まず、交流会です。あいさつや奈井江町についての発表は、練習よりも良くできたと思います。家庭などでの個人練習の成果が、発揮できたのだと思います。しかし、場に応じた行動ができなかったこと、ホテルで少し騒がしくなってしまったこと、朝の集合時刻にルーズになってしまったことは、今後の課題であると思います。

岡山県に着き、空港のロビーを出ると、高梁市教育委員会の浅沼さんという方が待っていてくれました。浅沼さんには、とてもお世話になりました。車の中では、話題が切れてしまうと、浅沼さんが話しかけてくれました。表敬訪問では、忙しい中、市長さんが僕達のために、短い時間でしたが、歓迎の言葉を述べて下さいました。その後、浅沼さんに旅館まで送迎していただいたり、飲み物をいただいたり本当にお世話になりました。さらに、次の日の市内見学では、私達に市の歴史や北海道との違いを丁寧に教えて下さいました。



広島では、戦争時の大変さや厳しさを教わりました。現代では、自由に生活し、学校へ行き、学習しています。しかし、昔は違いました。現代の日本では、平和な生活が当たり前になってきています。しかし、過去には、戦争があり、苦しい思いや辛い思いをした人々がたくさんいたという事実は、決して忘れてはいけないと思います。だからこそ私は、平和の尊さを学校の皆に伝えたいと思います。そして、広島

の原爆ドームや原爆資料館に行かなければ分からない悲惨な光景、衝撃を受けました。この日、外国人が多数、平日なのにわざわざこの日本の原爆資料館に来ていました。そして、見学料金は、100円にも満たない金額で誰もが見学できるよう配慮されたものでした。これは、全世界の平和を願う広島市民やその他の人々の思いが詰まっているからだと思いました。

私は、今回の経験を必ず今後に活かしていきたいです。

親善交流会について

奈井江中学校 1年 川端 あかり

10月23日、この日は少し天気も悪く雨が降っていました。

親善交流の2日目は、成羽小学校の児童達が私達にとってもわかりやすい学校紹介やゲームなどをしてくれました。まず、始めに成羽小学校の校長先生が私達に学校の紹介を簡単にしてくれました。次に私達が自己紹介を行いました。私達がそれぞれ「こんにちは!!」と言うと、皆さんが元気に「こんにちは!!」と応えてくれました。そして、成羽小学校の皆さんが、学校についてとてもわかりやすくスライドショーで説明してくれました。次に吹屋小学校の5年生の男の子が学校について説明してくれました。私は成羽小学校や吹屋小学校の発表を聞いて文化や行事など違いはあるけれど、2つの小学校の皆さんが私達



と同じように明るく元気だという共通点がありました。発表が終わって、成羽小学校の皆さんが、私達の為にゲームを用意してくれました。とても楽しかったです。そして、皆で写真を撮りました。そしてついに私達の学校紹介をする時が来ました。発表は、少し失敗がありましたが、何とか成功させることができました。この経験を生かして授業での発表などを頑張りたいと思います。発表が終わって私が一番嬉しかった事があります。それは、成羽小学校と吹屋小学校の皆さんがとても真剣に私達の発表を聞いてくれた事です。正直私は、小学生だから聞いてくれない人もいるのかなと思いましたが、小



学校の皆さんは、きちんと発表を聞いてくれてとても嬉しかったです。私達の発表が終わると成羽小学校の皆さんがプレゼントをくれました。プレゼントをもらうとついに成羽小学校の皆さんとの別れの時が来ました。短い間だったけれどとても楽しい思い出が出来ました。今回学び思ったことなど、これから、様々な事に生かしていきたいです。

「平成 20 年度 奈井江町親善交流派遣事業を終えて」

奈井江中学校 教諭 小原 陽一

この度の親善交流派遣事業におきましては、子どもたちにとって数多くの収穫点を見つけたことができました。

まず第 1 に、「交流の歴史の重み」を肌で感じることができました。昭和 57 年、友好都市提携を結んで以来、お互いがコツコツと積み重ねてきた交流が、今では、とても強固な信頼関係として築き上げられていることを実感することができました。それは、なにより高梁市の皆様のおもてなしの心、その温かい心と触れ合ったとき、我々はとてもありがたいと感じ、なおかつ、「友情の重み」を実感することができました。いわば、この「心と心の結びつき」が、いかに大切なものかを改めて感じるすることができました。大人ですらこのように感じるのですから、多感な子どもたちは存分に感じることもできたのだらうと思います。ですから、子どもたちのにとってこの時期に、このような有意義な体験を通じて、心温まる交流を経験できたことは、とてつもなく大きな財産となることは間違いないと考えております。

成羽小学校での交流会において、成羽小・吹屋小の児童による発表は熱のこもった見事なものでした。それに応えようと、奈井江の子どもたちは力の限り頑張り、納得のいく発表を披露することができました。そんな子どもたちの姿を見て、大きな成長を感じることができました。

そして第 2 に、広島平和記念資料館を訪れ、史上空前の惨劇の事実をこの目で確かめることができた点です。あの場で見学したことが子どもたちの心に深く刻み込まれたことが、真剣なまなざしで見ると子どもたちの表情から感じ取ることができました。「百聞は一見にしかず」とは、まさにこのことで、子どもたちは、あの場で計り知れない「衝撃」を受けたのではないかと、思います。それを子どもたちがそれぞれの生活の中でどのように生かしていくのか、また、周りの人々にどう伝えていくのか、ということに今後、期待を持って見守りたいと思います。

そして第 3 に、時間の経過とともに仲間と協力し合う姿勢が見られるようになった点です。中学生が主導権を握り、自分たちで役割を考える、役割を果たそうと努力していました。例えば、歩道での歩き方は、他人に迷惑がかからないように、班長を先頭に 1 列で歩くこと、荷物が多い人に対して、皆が分担して荷物を持ってあげることなど、集団生活の中で最も大切な「他者への思いやり」をもって行動することができるようになってきました。たいへん嬉しく思います。

最後に、この親善交流は、多くの方々のご理解、ご支援があってこと成り立つものです。お力添え下さった多くの方々に深く感謝申し上げます。



「教育文化親善交流派遣事業を終えて」

奈井江小学校 校長 東 喜章

はじめに、10月22日(水)～25日(土)の3泊4日にわたり、奈井江町教育文化親善交流団(小中学生6名)を奈井江中学校の小原先生と共に引率し、岡山県高梁市及び広島県広島市と宮島を訪問してきましたが、訪問にあたりご配慮を賜りました町長様・町教育委員会様をはじめ関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

また、高梁市教育委員会の皆様にも岡山空港に到着してから高梁市を出発するまでの間、付きっきりでお世話いただいたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。

おかげさまで、参加者一同、高梁市立成羽小学校51名、及び吹屋小学校1名の6年生と親しく交流ができたばかりでなく、広く社会見聞を深めることができました。心より感謝申し上げます。

心配した天候も大きく崩れることなく、2日目に傘をささなくても平気な程度の小雨は降りましたが、残りの3日間は晴れ間が広がり暖かく、午後8時頃でも半袖で過ごすのがちょうどよいくらい、天候にも恵まれた旅行でした。平和の願いをこめておった千羽鶴の広島平和公園での献呈、献花、そして、原爆ドーム、平和記念資料館、厳島神社の見学と所期の目的を達成することができました。



さて、第一目的の高梁市での交流・研修ですが、先ず訪問のご挨拶をするため市役所に伺いましたところ、秋岡市長様、西井教育長様をはじめ、教育委員会事務局の皆様が温かく迎えてくださいました。特に、秋岡市長様は、翌日までの任期ということでご多忙だったにもかかわらず時間を割いてくださり、これまでの相互交流の思い出を織り交ぜて歓迎のお話をしてくださいました。

翌日は午前中2時間程度、成羽小学校で成羽・吹屋両小学校の児童と交流しました。昨年までは成羽地区の小中学校の代表との交流でしたが、今年には実際に小学校を訪問し



での交流をしました。私自身、これまでの交流についてはよく知りませんが、昨年までとは違った意味で深い交流ができたのではないかと考えています。ただ、中学校との交流ができませんでしたので、2人の中学生にとっては残念だったと思います。

成羽・吹屋両小学校6年生との交流では、大きな拍手で迎えていただき、各学校の歴史や一年間の活動の様子を紹介してくれました。成羽小学校は、

135年の歴史と伝統のある学校で、校地の周囲には昔の石垣がそのまま利用されていました。年間の行事は奈井江の学校と大きく変わりはありませんが、成羽地区の自然を生かした学習や行事、吹屋小学校の児童が成羽小学校へ来ての交流学习を数多く行っているそうです。当日も吹屋小学校の全児童が交流学习で訪れていました。

両小学校の紹介に続き、私たちの気持ちを和ませようと仲間集めゲームをしてくれました。好きな学習や食べ物、行きたいところなどを互いに質問し合い、その後にじゃんけんをして勝ったら相手の名前を表に書き込むという内容です。奈井江の子どもたちのところに列ができ、成羽・吹屋両小学校の児童が笑顔で接してくれたので、奈井江の子どもたちも自然と笑顔でゲームを楽しむことができ、質問にもしっかりと答えていました。

最後に、奈井江町の学校紹介をしましたが、成羽・吹屋両小学校の児童は、おしゃべり一つせず説明を聞いてくれました。奈井江の子どもたちも、はっきりとした声で説明をして立派でした。交流会には、地元の2局のケーブルテレビ会社と新聞社が取材に来ていました。きっと、交流の様子がテレビ、新聞で報じられたと思います。



成羽小学校を後にして、教育委員会の方に案内していただき、高梁市内の資料館等を見学しました。高梁市は、その昔、標高430メートルの臥牛山に築かれた備中松山城の城下町として栄え、現在もその風情あふれる町並みを残しています。また、童謡の町、漫画文化の町としてもまちづくりを進め、歩いていると歴史と文化の息吹を肌で感じる事ができました。

終わりになりますが、高梁市でいろいろお世話してくださった教育委員会の方々の中に、平成元年に成羽町の交流訪問団の一員として奈井江町を訪れたことのある女性の方がいました。20年前に訪問された時の資料(奈井江町のパンフレットや交流に参加した児童生徒の名簿等)を大切に持っておられ、それを私たちに見せてくださり、懐かしい思い出として話してくださいました。そのことで、一段とこの教育文化親善交流事業の重みを実感しました。

交流会のゲームの中の「どこに行きたいですか」という問いかけに、成羽、吹屋両小学校の多くの児童が「北海道に行ってみよう」と答えていました。大人になっても交流したことを覚えている子がいて、北海道、奈井江町に来てくれる機会があればいいなと思います。



思い出のページ

